

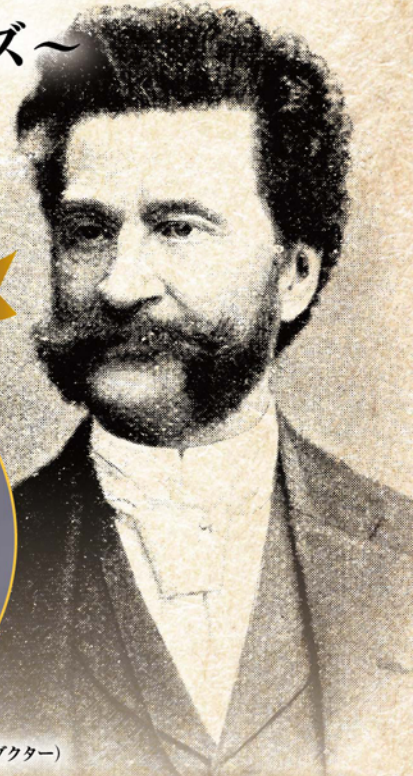
セントラル愛知交響楽団

第31回岩倉定期演奏会

～ウィーンへの旅、ドナウ川クルーズ～

J.シュトラウス二世

生誕200年



指揮 / 境田栄斗 (アソシエイトコンダクター)

モーツァルト

交響曲第41番 ハ長調 K.511 「ジュピター」

J.シュトラウス二世

喜歌劇「こうもり」序曲

アンネン・ポルカ

皇帝円舞曲

雷鳴と稲妻

美しく青きドナウ



2025年7月13日(日) 開演 14:00 (開場 13:30)

アデリア総合体育文化センター 多目的ホール (岩倉市総合体育文化センター)

入場料 / 全席自由 4/15(火)発売

[一般] 2,500円

[U25 (25歳以下)] 1,250円

入場時要身分証明書

お申込み
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

☎052-581-3851 <https://www.caso.jp>

(10:00~17:30 / 土日祝休) チケット郵送対応可

インターネット購入はこちら▶



当団の会員様は会員割引価格でのご購入が可能(当団事務局及びチケットシステムでの購入時)

未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。やむを得ない事情で公演を中止、または公演内容を変更する場合がございます。

チケット取扱い

アデリア総合体育文化センター、アピタパワー岩倉店
愛知芸術文化センタープレイガイド (☎052-972-0430)

主催 / 公益社団法人セントラル愛知交響楽団

後援 / 愛知県教育委員会、岩倉市教育委員会

Johann Strauss II.

今年2025年はヨハン・シュトラウス二世生誕200年のアニバーサリーイヤー！

今回の岩倉定期演奏会は、シュトラウス二世の楽曲を集めました。

前半では同じくウィーンで活躍した、モーツァルトの最後の交響曲「交響曲第41番ジュピター」をお届けいたします。

午後のひと時、ウィーンへの旅に出かけましょう。



指揮／境田 栄斗 (アソシエイトコンダクター)

2001年宮崎県生まれ。昭和音楽大学卒業。

指揮を時任康文、山館冬樹の両氏に師事。フランソワ＝グザヴィエ・ロト氏のマスタークラスを受講。在学中より合唱指揮、オペラの副指揮等を経験し、これまでにオーケストラ、吹奏楽団を中心に多数指揮。また首都圏の音大生を中心に結成されたDream winds JAPANの課題曲コンサートでは客演指揮を務め吹奏楽の魅力を追求している。第6回山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにおいて山田貞夫音楽賞、特選(第1位)を受賞。現在、中京大学フィルハーモニー交響楽団常任指揮者。ソレイユウィンドオーケストラ常任指揮者。昭和音楽大学大学院音楽研究科修士課程指揮専攻に在籍。2025年度よりセントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。



セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛

知県より認定を受け公益社団法人となる。2023年創立40周年を迎えた。2024年4月から名古屋出身の角田鋼亮が音楽監督に就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2020年度より公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディション最優秀者をアソシエイトコンダクターとして迎えている。

定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。



アデリア総合体育文化センター 多目的ホール ☎0587-66-2222

〒482-0035 岩倉市鈴井町下新田123番地

- ・名鉄犬山線「岩倉駅」下車、徒歩15分
- ・または岩倉駅より名鉄バス一宮線「西市」下車、徒歩4分

※駐車場251台。ただし、土日・祝日は、催し物がメインアリーナ(体育館)と文化ホールで重なることが多く、駐車場が混雑する場合がございます。乗り合わせての来館にご協力ください。